

# 大雪被害で本庄、児玉地域の

# イチゴ・トマト・キュウリ・ほうれん草などの農業用ハウスの大半が倒壊

2013年2月18日

本庄市長吉田信解様

日本共産党本庄市委員会  
同市議会議員 柿沼綾子

## 豪雪被害に対する緊急申し入れ

14日から15日未明にかけて降った雪は、広く関東平野で記録的な豪雪となり、各地で死者を出し、家屋の一部損壊や停電、高速道路の通行止め、鉄道の運休などの事態が発生し、住民生活の命を脅かす事態になりました。

本庄市においても観測史上最高の積雪の影響で農業用ビニールハウスの倒壊が相次ぎ深刻な状況が発生しています。

日本共産党本庄市委員会の災害対策本部は17日午後と18日午前、被害調査に入りました。本庄地域、児玉地域ともほぼ壊滅状態でありました。本庄地域できゅうりを栽培する農家では3ヶ所のハウスが倒壊し、「これから収穫最盛期になってくる中で」と肩を落としていました。児玉地域で2種類のイチゴを2ヶ所のハウスで大きく栽培している農家では「ハウスの中を見てくれ、もうこれでおしまいだ」「これから収穫期を迎えようとするのに、共済保険にも入っていないので不安」と頭を抱えていました。「これから現金が入ってこないのだから生活が不安」という訴えも出されました。また、「この災害で後継者の農業離れが起きないか心配」との声も聞かれました。

本庄市長にはこうした被害農家の現状を一刻も早く掴み被災農家等への支援をお願いするものであります。

### 【申し入れ事項】

- 1、農家、市民の被害状況を一刻も早く把握すること。
  - 2、本庄市災害見舞金等支給条例の第二条三項（市長が特に必要と認めたとき）を広く準用すること。
  - 3、特に、農業ビニールハウス農家の被害実態調査を早急に行い、被害農家の復興意欲を高めるために埼玉県・国へ激甚対策（激甚災害に対処するための特別財政援助に関する法律）の指定を求めよう早急に申し入れること。
  - 4、特に、今回の農業ビニールハウス倒壊農家は専業農家が多くパート労働者を雇用している農家もあるので、その方たちへの相談や支援にも取り組むこと。
  - 5、被害農家の復興意欲を高め後継者の農業離れを起ささないためにもJA（農協）とも連携を図りながら倒壊ハウスの撤去への支援、救済・救援を行うこと。
  - 6、今回の豪雪被害により著しく減収が予想される被害農家やパート労働者に対し、税金、国保、年金での減額や免除、「就学援助」の対象となる小中学生のいる家庭への援助等を強めること。
- 以上



市長に緊急申し入れをする柿沼本部長＝18日、本庄市役所



雪でつぶれたビニールハウスの前で状況や要望を聞く柿沼市議（左）＝18日、市内藤田地区

「せめて撤去に支援を」と撤去費用が大きくなるので「せめて撤去に支援をお願いしたい」この災害で「後継者の農業離れが起きないか心配」との声も聞かれました。

柿沼市議―市議会の緊急会議を議長に要請―

20日、緊急の会議（全員協議会）が招集されました。

日本共産党本庄市委員会災害対策本部（柿沼綾子本部長）は18日、吉田信解本庄市長に「豪雪被害に対する緊急申し入れ」を行いました。（申し入れ全文を掲載します。）

## 市長に緊急申し入れ

本庄市党対策本部、17日、

18日現地調査

日本共産党本庄市委員会の災害対策本部は17日午後と18日午前、被害調査に入りました。本庄地域、児玉地域ともほぼ壊滅状態でありました。本庄地域でキュウリを栽培する農家では3ヶ所のハウスが倒壊し、「これから収穫最盛期になってくる中で」と肩を落としていました。児玉地域で2種類のイチゴを2ヶ所のハウスで大きく栽培している農家では「ハウスの中を見てくれ、もうこれでおしまいだ」「これから収穫期を迎えようとするのに、共済保険にも入っていないので不安」と頭を抱えていました。「これから現金が入ってこないのだから生活が不安」という訴えも出されました。

## 日本共産党本庄市委員会災害対策本部ニュース

2014年2月22日 連絡先 電話21-2098